



ピーターさんはフォナック・カナダで働いているとても明るい方です。私たちがピーターさんと最初に会ったのは会議の席だったのですが、とても自然に FM システムを使っていました。彼にとって FM システムを使うことは当たり前のことなのです。



Peter Stelmacovich

フォナック・カナダで FM システムの
プロダクトマネージャーとして勤務。

質問 ①：ピーターさんの自己紹介をお願いします。

私はオンタリオ州 ミシサーガにあるフォナック・カナダで FM 製品のプロダクトマネージャーとして勤務しています。出身のウェスタン・オンタリオ大学では臨床聴覚学を専攻し、耳や聴覚について勉強していました。大学卒業後、最初は病院に勤務していましたが、10年ほど前から現職に就いています。趣味はスキーやカヌー、カヤック、音楽です。特に音楽は本当に大好きで、友人とバンドを結成し、ベースを担当しています。

質問 ②：使っている補聴器、人工内耳と FM システムを教えてください。

私の左耳にナイーダ UP、右耳にコクレア社 耳かけ型フリーダムを装着しています。送信機として SmartLink+、受信機として左耳はナイーダ UP 専用の一体型受信機 ML10i、右耳は耳かけ型フリーダム専用受信機 MicroLink Freedom を使っています。



※ 送信機 SmartLink+ は 2010 年 4 月現在、未発売製品です。

質問 ③：ピーターさんはいつから FM システムを使っていますか？

私が初めて FM システムの存在を知ったのは大学 2 回生のときです。実は大学 1 年生をもう少しで落第しそうでした。講義室はとても広く先生が何を言っているのか聞こえませんでした。聞こえに悩んでいたときに FM システムを知ったときは本当に驚きました。こんなに先生の講義が良く聞こえるようになるとは思っていなかったのです。それと同時にどうして誰も FM システムについて教えてくれなかったのだろう、と残念に思いました。そのとき私は難聴の人達に私と同じような寂しい思いをさせたくないと思ったのです。これが私にとって今後生きていく上での大きなモチベーションとなり、オーディオロジスト（海外の聴覚専門家）になろうと決めました。なるべく多くの人達が FM システムを使って、聞こえに不自由なく生活していただくことが私の大きなミッションとなっています。

質問④：誰かがFMシステムについて教えてくれたのですか？

周りの方はFMシステムを知りませんでした。偶然FMシステムの存在について知った私はすぐに試聴して、自分にとって必要なものだと分かりました。現在はオーディオロジストがFMシステムの大切さを知っています。現在のカナダでは難聴のこどものうち、90%以上のこどもがFMシステムを使っています。

質問⑤：ピーターさんがFMシステムを使う理由を教えてください。

補聴器も人工内耳も優れた性能を持っていて、私に素晴らしい聞こえをもたらしてくれます。しかし周りが騒がしい場所にいると聞き取りが難しくなってしまいます。そのような場所でFMシステムを使用すると騒がしい場所でも聞き取りがスムーズになり、すごく便利なのです。私は毎日、FMシステムを6時間ほど使っています。

質問⑥：どのようなときにFMシステムを使っていますか？

仕事ではスタッフとのミーティングや携帯電話で話すときにFMシステムを使っています。また少し騒がしい場所でお客様と打ち合わせをするときにも使います。プライベートでもFMシステムは大活躍です。例えば以下のようなときにFMシステムを使っています。

- レストラン、バー、カフェ
- 車の中で家族と話すとき
- 講義を受けるとき（趣味のカヤック、スキーの講義を受けています）
- 旅行（コンダクターの方に持ってもらいます）
- iPod、テレビ、コンピューター
- 教会
- 携帯電話（Bluetooth）
- カーナビ

質問⑦：カナダ政府は難聴の方にどのようなサポートがありますか？

小学校から高校まで全てのこどもにはFMシステムが支給されます。ほとんどのこども達はフォナックのFMシステムを使っています。学校で使う以外に、自宅で使うためのFMシステムも支給されるケースもあります。ただおとなの場合は全ての方にFMシステムが支給される、という状況ではありません。

質問⑧：あなたにとってFMシステムとは？

FMシステムをまったく知らない人に使ってもらうときです。私が使い方を簡単に説明するのですが、FMシステムは単純に送信機を装着すればいいという訳ではありません。話し手に正しく装着して使ってもらう必要があります。話し手の方が正しく使うことに意識を持ってもらえると本当に助かります。